

第13回 与謝野寛・晶子を偲ぶ会

「明星」文学者、四季の食卓— 杢太郎・勇・晶子・光太郎

日本の四季は食卓に旬の素材と料理を提供し、茶や酒を用意しました。感性豊かな「明星」の歌人・詩人たちにとっても同じ。西洋への憧れを秘めたサラダ、パン、コーヒーやリキュール酒などに揺れる心を託し、日常の彩りとするのも……。与謝野家では子供たちとどんな食卓を囲んでいたのでしょうか？ 祇園に出入りした吉井勇は？ 伊豆伊東の海を眺めて育った木下杢太郎は？ パリ体験が人生の刻印となった高村光太郎は？

今年は木下杢太郎の詩集『食後の唄』刊行から100年に当たります。これを記念して、詩歌や随筆などに描かれた食の現場・食をめぐる心情風景を追体験してみましょう。

多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



●日時●2019年3月23日(土)

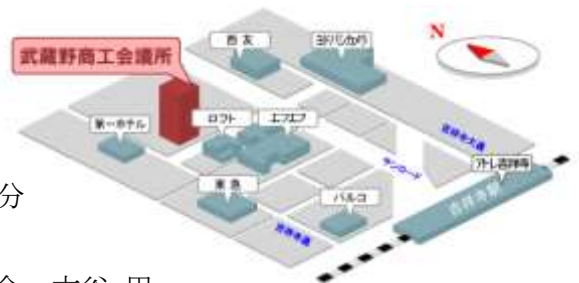
開場：午後1時 開始：1時30分 終了：4時30分

●会場●武蔵野商工会議所・市民会議室

東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-7

武蔵野市立武蔵野商工会館4階

交通：JR中央線吉祥寺駅下車・北口徒歩5分



●プログラム●

総合司会：古谷 円

第1部：対談 杢太郎と勇「美食家(グルメ)と健啖家(グールマン) — 美食への憧れ」

「グルメと言われるが—杢太郎は何を食べたか」丸井重孝(歌人・伊東市立木下杢太郎記念館)

「極道に生れて河豚のうまさかな—グールマン・吉井勇」細川光洋(静岡県立大学)

第2部：対談 晶子と光太郎「日仏の出会い食卓風景」

「苦しい中でも工夫して／高村光太郎の食」小山弘明(高村光太郎連翹忌運営委員会代表)

「家族と囲む食の喜び ～駿河屋の娘のそののち」松平盟子(歌人)

●参加費●1,500円 (資料代を含みます／お支払いは当日にお願いいたします)

●申し込み●氏名・連絡先(電話)を添え、メールかFAXでお申し込み下さい。

当日受付も可能です。

メールアドレス：apply@myojo-k.net FAX：0463-84-5313(古谷方)

●懇親会●4,000円(当日受付でお申し込みください)

●定員●90名 ●主催●明星研究会

●後援●落合直文顕彰会・軽井沢美術文化学院・国際啄木学会・日本現代詩歌文学館

●協力●伊東市立木下杢太郎記念館・小浜市山川登美子記念館・香美市立吉井勇記念館

文京区立森鷗外記念館・与謝野晶子倶楽部